図画・工作　教科経営案

１．本校の教育目標

「９年間の小中一貫教育を通して、優しさと確かな学力を身につけ、未来に向かってたくましく生き抜く椨原人の育成」

２．研究主題

基礎学力の定着と学力の向上を目指した学習指導法の工夫・改善

－9 年間の系統的な ICT 教育の構築 －

３．教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 作り出す喜びを味わうとともに完成を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

４．重点目標

（１）造形

・進んで表したり見たりする態度を育て，つくりだす喜びを味わう。(低学年)

・進んで表現や鑑賞をする態度を育て，つくりだす喜びを味わう。(中学年)

・創造的に表現や鑑賞をする態度を育て，つくりだす喜びを味わう。(高学年)

（２）発想

・豊かな発想をし，体全体の感覚や技能などを働かせる。(低学年)

・豊かな発想をし，手や体全体を充分に働かせ，表し方を工夫する。(中学年)

・想像力を働かせて発想や構想をし，様々な表し方を工夫する。(高学年)

（３）鑑賞

・身の回りの作品などから，面白さや楽しさを感じ取る。(低学年)

・身近にある作品などから，よさや面白さを感じ取る。(中学年)

・親しみのある作品などから，よさや美しさを感じ取る。(高学年)